

けいじばん 2月の掲示板より

こうはくばいず そと こうはくばいず 「紅白梅図の外にも紅白梅図」

うめ 「梅なのにサクラ？」 「梅を詠む」

こうはくばいず そと こうはくばいず 「紅白梅図の外にも紅白梅図」

2月の掲示板「紅白梅図の外にも紅白梅図」は、国宝 尾形光琳の紅白梅図屏風（江戸時代18世紀 MOA美術館所蔵）が、イメージの基になっています。金色の地に、中央の黒い流れと銀の波、左右に紅白の若木と老木の梅を配して、対照的で大胆な構図です。画面の端で梅や流れが切れることで、画面の外側にも風景が広がっていくように感じられます。屏風として、自分のいる空間に立てられていたら、どんな風に見えるでしょうか？



紅白梅図屏風 | MOA 美術館 | MOAMUSEUM OF ART (moart.or.jp)

★美術館やそのホームページ、本などからお気に入りの作品を見つけて味わってみたり、自分の表現のヒントにしてみたりしましょう。

うめ はな 「梅の花なのにサクラ？」

まだ寒い2月にたくさんの花をつけている梅。よく見ると実にならない「めしべ」の無い花もかなりあります。以前見たテレビ番組※を思い出しました。「花が多いと虫や鳥たちをひきつけて受粉しやすくなるが、花の数が全て実になってしまうと養分を多く使い、さらに重くなって木の負担が大きくなる。実の数を減らすことで一つ一つの実が大きくなり、イノシシや鹿などの動物に実を食べてもらいやすくなり、種が遠くに運ばれる」という梅の生存戦略の内容でした。2年生の国語で学習する「たんぽぽのちえ」の説明文も思い出しました。植物はすごい！



【今月の和菓子】

※和菓子は、季節を取り入れたものが多いです。他にほとんど和菓子があるか見つけてみましょう。

上「紅梅」
下「椿」



2月の装飾「紅白梅図の外にも紅白梅図」

※NHK Eテレ『植物に学ぶ生存戦略2』2019.5.2. 放送より



かしわぎしょうがっこう こうてい てつぼうちか
柏木小学校の校庭の鉄棒近くにある梅です。みなさんは気付きましたか？

【意味】
「春になって東風が吹いたらば、香りだけでも私のもとへ届けておくれ、梅の花よ。主人がいらないからといって、春を忘れたらいけないよ」
『大鏡』（※平安後期の歴史物語）より 作者 菅原道真
今は学問の神様として知られている菅原道真が、現在の福岡県にある大宰府に左遷となった際、大切にしていた梅の木に対して詠んだ歌です。
「東風」は「春に東から吹く風」という意味ですが、京都から大宰府に吹く風は、道真にとっては東から吹く風ということになります。

【梅を詠む】

東風吹かば
匂ひおこせよ 梅の花
あるじなしとて 春な忘れそ



しんじゅくもんよこ けいじばん
新宿門横の掲示板にあります。

令和3年2月 図画工作科 竹内とも子